

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア



しらかば北

発行責任者
井上文夫

我孫子北後援会

『しらかば北』の一年

江角 省二

後援会「ニュースしらかば北」は、昨年12月100号を達成し、1月16日「100号記念の集い」を行い、200号へ向けて新たな一歩を踏み出しました。地域要求の実現に向けた運動はつくし野歩道の凸凹解消や台田の交差点に信号機設置の運動など、北地域支部や船橋まさる議員の活動で進めています。

4月7日、つくしの丘で満開の大島桜でお花見をしました。十数人が参加。我孫子市議会報告は議会開催の翌月に報告会を開催しており、4月20日は後援会総会と併せて行いました。10月6日、4年ぶりに開催された「新産業まつりのバザー」は皆さまの協力を得て成功でした。10月の衆議院選挙は、北地域支部と共に取り組みました。

あびこ医療と健康友の会

渡辺 初子

一人ぼっちをなくそう、とバネ旅行やお祭りのバザー等で集いました。そして病の早期発見をめざして会員の皆さんに、市の健診をすすめました。

また、高齢者相談室の人たちの

一年を振り返って

力もお借りして医療懇談会を行い、5月には日比谷野外音楽堂で行われた「戦争の惨禍を二度と繰り返さない」憲法集会にも参加しました。

今年にはなにより、マイナンバーカードに保険証の紐づけ反対の訴え、行動を毎月第四木曜日に我孫子駅南口駅前で行いました。会報も6回発行し会員にお知らせや報告を行ってきました。

補償費の補助を求める会

柳 トシ子

今まで4年を経過した「補償費の補助を求める会」は、個人会員211名。団体加入10をかぞえます。購入時の補助については、議会への陳情。我孫子市長への署名提出。高齢者支援課との懇談の継続を行ってきましたが、補助制度の創設は実現していません。加齢者難聴の放置は、認知症の

安保法廃止を求める

我孫子市民の会

井上 文夫

「我孫子市民の会」には9条の会、新婦人の会、我孫子革新懇など我孫子で活動している多くの市民団体が参加しています。毎月9日には我孫子駅南口で、また19日には北口で雨の日を除いて定期的にスピーカーでの宣伝、改憲反対の署名活動やチラシを配っています。毎回、十数人が参加しています。

憲法9条を大書した大きなぼりが道行く人の目を引いています。「継続は力なり」。安保法の廃止まで粘り強く頑張っています。

我孫子革新懇

中村 良雄

今年是我孫子革新懇にとつては忙しい年でした。創立30年以上経過しましたが、会独自の活動と市民の民主団体との共同の活動を合わせると多彩になります。会独自では1月に弁護士（四谷姉妹）による講演会で憲法に寄せる強い啓蒙に120人及以上参加がありました。

憲法では、5月5日の全国革新懇代表世話人の五十嵐仁さんの講演も100人の参加で大いに盛り上がりました。更に実行委員会での活動で8月には第15回の「あびこ平和フェスティバル」は延べ200人を超える参加者で賑わい市内の民主的活動の豊かさを考え、来年への展望を期



つくし野グリーンベルトのイルミネーションが今年も点灯しました。つくし野懇会の方が25年前から続けています。

待っています。

来年2025年2月8日には「新春の集い」で主に農業問題で食糧危機を取り上げて食の安全と安全保障の問題を考えます。

我孫子市九条の会

中川 美保子

衆議院選挙の結果、改憲勢力が発議に必要な3分の2の議席をとれなかったことは、『9条守れ、憲法変えるな』の私たちの運動にとって、時間を獲得したことになると思います。しかし、石破首相は憲法を変え自衛隊を軍隊にすることに執念を持っています。安保法制によって外国とともに戦争できる国になった日本。ますます私たちの宣伝活動が重要になっています。新リーフで毎月9日、19日我孫子駅南北での宣伝行動が今まで以上に大切になっています。

(裏面に続く)

花火

腹話術上演日本一(4890回)を誇る、しろたにまもるさんから「自身の著書を贈呈していただきました。題して『今こそ、こころ古』(腹話術師の旅日記)。しろたにさんが相棒の『ゴローちゃん』と一緒に、全国の被災地や老人ホーム、学校などを周り、笑いを届けた記録です。裏表紙には、しろたにさんとゴローちゃんのやりとりで、子どもたちの弾けるような笑顔が載っていて、その笑顔を見ているだけで元気をもらいました。『さよなら、さよなら』と、ペー

ジをめくると、次のように書かれています。「私が作った造語です。能力、体力、知力、記憶力、筋力、精力、財力など『古』のつくものは沢山あります。しかし、私は今の日本、世界に欠けているのは「心(こころ)力」だと思っております。人の痛みを知る、相手の気持ちをくみ取る、人のことを思いやる、人に優しくする、不正義に立ち向かう勇氣、そんな心が足りないと思っております。心は、先に挙げた体力みたいな目に見えるものではないと思っております。しかし、目に見えないものこそ大事にされなければならぬと思っております。身に染みる文章です。しろたにさんは、人々の心に栄養を届けするために、ゴローちゃんと一緒に、今日も日本全国や世界各地を旅しています。▼なお、しろたにさんは船橋まるきりと高校の先輩後輩の間柄で、去年の市議会議員選挙の時も初めて立候補した船橋さん応援のために、ゴローちゃんと一緒に応援にかけつけてくれました。そして船橋まさるさんは見事に当選を果たしました。(井)

《一年を振り返って》一面より続き

新婦人つくしの班

佐々木 礼子

新婦人つくし野班の班会では、新婦人しんぶんを詠み合せて、平和や暮らしやジェンダーの事などをお喋りしています。

体力作りのヨガや絵手紙教室も毎月やっています。寺子屋では、幼児・小学生の勉強会（キッズ英語も）をしています。

第一土曜日の6・9行動や9の日行動にも参加して、平和の大切さを訴えています。

メンバーはシニア世代が多いので、毎日を元気に過ごせるように互いに声を掛け励ましています。

平和の集い



報告する広島派遣中学生

12月1日午後、けやきプラザふれあいホールで我孫子市と我孫子市平和事業推進市民会議主催の「平和の集い」が開かれました。

市内6校の広島派遣中学生16人の報告は、スライドを使って、それぞれが被爆地広島で体験したこと、そして平和への思いを率直に語ったことに会場から大きな拍手が送られました。また我孫子中学校演劇部によ

よる「戦争を知らない子供たち」と題する演劇も、セリフのはっきりした優れたものでした。ところで、気になったことが一つ。主催者あいさつに立った二人、星野市長と平和事業推進市民会議の代表が挨拶の中で日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことに一言も触れなかったこと。残念でした。

(竹)

「北」地域の情報

我孫子で学生向け食料支援

12月11日、午後2時から中央学院大学近くの久寺家近隣センターで東葛食料支援実行委員会主催の「食料支援」が行われました。事前に予約した学生たちが来場し、実行委員会メンバーなどと話し合い、アンケートにこたえ、お米・缶詰・カップラーメンなどの食料を持ち帰っていきましました。



支援を受ける学生（左側）と実行委員会

寒い季節



温かい鍋

つくし野 松本守正さんの作品

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/>です。スマホのQRコードはこちらから。→



いつまでも楽しく



渡辺初子

高齢、病、そんな身で、こころが萎えることがある。ときどき思うことは、今やらねば、今行かねば、いつも心がわが身を追い立てる。みた人が好き、おしゃべり好き、補聴器も入り、まだまだ楽しい気分になったり、いつも何かを求めて生きている。

そんな中、11月13日、晴天のもと、一人で上野の西洋美術館に出かけた。「モネ睡蓮のとき」を鑑賞したくて。コロナ前、パリのオランジェリー美術館にて「クロードモネ」の睡蓮を鑑賞したことがあり、もう一度見たいと心が動いた。自然の光のもと、水面に睡蓮の白とりのりの花、畳一帖くらいのキャンバスに、白内障を患いながらの絵に私を夢中にさせてくれた。満喫した心で公園のドトールで喫茶しながら

修学旅行の生徒たちの、たわむれ、笑い、楽しそうにしている姿をうオツチング。隣の席に、外国人の青年が「……？」と語りかけられ、「プリーズ、OK」と私、会話ができないもどかしさ。でもなんだか外出は楽しい、嬉しい、生きている感を満喫した一日だった。

